

ひらかた☆ 学校図書館ニュース

枚方市立中央図書館
学校図書館支援グループ 電話050-7105-8103

学校司書との連携 — それぞれの役割を活かして

今年度も学校図書館のオリエンテーションが始まりました。小学校でも、校区の学校司書が、司書教諭や学年の先生と相談して、それぞれの役割を活かしながら、学年やクラス単位で、子どもたちの状況に合わせてオリエンテーションをしています。

樟葉西小学校では、最初に司書教諭が図書館でのマナーや本の扱いについての話をし、続いて学校司書が学年に合わせて難易度を変えながら、図書館クイズや日本十進分類法順に並んだ本を子どもたちが探し出すビンゴをしました。また、低学年では読み聞かせ、高学年では教科書で紹介された本の中から1冊、学校司書がブックトークを行いました。

子どもたちは熱心に話を聞き、書架から本を探し出すのも楽しそうでした。

最後に、司書教諭が、教科書で紹介されている本の棚を紹介しました。子どもたちが学習したあと、すぐに本が読めるように、計画的に本が購入され、学年ごとにまとめられています。学習時期が重なることもふまえ、必要な本を学校で順次そろえ、教育支援用団体貸出と合わせて活用していただけたらと思います。



中学校区ごとの話し合い
— 話ははずんでいます



オリエンテーションのようす
(樟葉西小学校)



4月15日の司書教諭・学校司書研修（教育研修課主催）では、今年度の「学校図書館運営について」の講義の後、「昨年度の取り組みを振り返り、今年度の年間計画を作成する」をテーマに、中学校区ごとのグループ協議がありました。

この時期に、司書教諭と校区の学校司書が顔合わせをして、年間計画や支援の内容について、話し合える時間がとれることはとてもありがたいという声がたくさんありました。

「この時期の〇年生の授業で、学校司書の支援がほしい」と、指導計画を持ってきた小学校もあり、校内で調整する場面も見られました。

本のおもしろさを伝える — 並行読書を取り入れた授業

小中学校で、教科書に取り上げられた教材に関連するテーマや同じ作者の作品を中心に、並行読書を取り入れた授業が進められています。

津田中学校では、1年生の国語で「オオカミの友だち」「ペンギンの防寒着」「くじらの飲み水」と動物に関する教材が続いたことから、学校図書館にある「動物に関する本」を読み、あらすじと感想をまとめて説明する授業が行われました。

あらかじめ学校司書が動物に関する本を展示していましたが、学校図書館だけでも動物に関する本はまだまだたくさんあります。当日の授業では、その日の学習のねらいを先生が説明した後、学校司書が〇類から順に書架をまわって、動物といっても動物そのものを書いた本だけでなく、事典やペット、絵本、物語といろいろあることを、いくつか例をあげ、本を紹介しながら説明しました。生徒たちはいろんな書架で本をさがし、時には先生や学校司書に聞きながら、本を選び、読んでまとめる作業に入りました。

新たな本に出会い、知識や感動を広げ、本のおもしろさを人に伝える—きっと読書の幅が広がることでしょう。



動物に関する本を読む
(津田中学校)



第4回 ビブリオバトル出場者の感想から

平成31年3月17日の「第4回中学生のビブリオバトル」。市内中学生47人が参加、観戦者が79人と盛大に行われました。

各中学校では、授業や図書委員会など、さまざまな場面で、自分のオススメ本を人に伝える機会がふえ、学校図書館で特集をくむと、そのオススメ本を借りて読んでいく生徒が多いとも聞きます。

出場者たちは緊張した面持ちながらも、熱心に発表していました。「いろいろな本と出会えるきっかけができてとても楽しかった」「思った以上に人に物語を伝えることが難しいとよくわかった」「小説を紹介している人が多かったが、紹介のしかたが違って個性を感じた」「みんなのオススメ本がわかってよかったし、読んでみたい本もあり、来てよかった」「発表するときは緊張するけど、しっかり自分の伝えたい思いとかを大勢の前で発表するのはすごく大切だと思った」「迫力、躍動感を取り入れようと思った」「また来年も出たい」等、うれしい感想がたくさんありました。



決勝のようすと
紹介された本

